



## アイウェーブ・ジャパン株式会社は LoRa WAN や Wi-SUN などの LPWA「低電力広エリア」通信を用いるソリューションサービスの提供を開始します

組み込み製品の開発およびソリューションプロバイダーのアイウェーブ・ジャパン株式会社(以下アイウェーブ)は LoRa WAN や Wi-SUN などの LPWA を用いるソリューションサービスの提供を開始します。LPWA は低消費電力で長距離通信を実現するという、現在の LTE や 3G 通信とは異なり、通信速度より消費電力に注目した通信です。

アイウェーブは長年のネットワーク構築経験や組み込み技術経験を活用してニーズの高い LPWA 通信のソリューションサービスを展開します。この LPWA 通信は IoT だけでなく、産業用途の通信としても非常に高い注目を集めており弊社では、交通系を支える基幹系のシステムへの採用が進んでいます。国内はもとより海外でも強い注目を集めております。

当面は、LoRa(Long Range)ネットワークと Wi-SUN(Wireless Smart Utility Network)を用いたサービスの提供を開始し、LTE カテゴリー 0 などの製品についてのソリューションや製品提供も近日開始する予定です。

このソリューションサービスはシステム設計の段階から始まり LoRa WAN や Wi-SUN モジュールの選定、通信プロトコルの実装、ゲートウェイ開発、アプリケーション開発、サーバー構築、ネットワーク構築、製品の量産まで統括して提供するものです。

通信は組み込み製品の主要機能として重要ですが通信に必要なリソース(認証費用・通信費用)の負担が一方で問題となっており、これらの問題を解決する LPWA 通信は注目を集めています。大手通信キャリアが提供する LPWA 通信サービスには費用負担が生じます。当社が提供するサービスは、お客様のハードウェアとして、LPWA 通信設備を提供するサービスとなり、いちど納入したあとはお客様が運用することとなります。これにより、長年の使用でも追加費用が不要です、これらのノウハウをお客様に提供する当社のソリューションは他社とは一線を画するものです。

「今回開発提供開始するソリューションは Linux と親和性が高く、弊社で開発してきたハードウェアや市場に存在する組み込み Linux システムとも親和します。組み込みにおいても通信システムは重要な地位を占めるようになっており、LPWA 通信の需要は高まるばかりです。通信規格の移り変わりは激しいですが、自社で構築したシステムは通信料金も含め安定しており、長期利用前提の組み込み業界に現時点において最良の組み合わせとなります。

安定した通信の搭載によって、さまざまな新しいアプリケーションを実行可能にする非常に有効な選択肢であり、既存のあらゆるネットワークや通信を潜在的に置き換える可能性もあります。LPWA 通信は HMI・アクセス制御・医療機器・輸送・家庭 & オフィスオートメーション機器・工業用制御機器などのいくつかのアプリケーションを対象としています。」とアイウェアシステムのアソシエイトデレクターのザフィール フェロズ氏は述べています。

(注釈) ARM 及び Cortex は、ARM Limited(またはその子会社)の EU またはその他の国における登録商標です。PowerVR™は、Imagination technologies Limited(またはその子会社)の EU またはその他の国における登録商標です。全ての登録商標もしくは商標は、それぞれの所有者の財産です。

## アイウェア・ジャパンについて

アイウェア・ジャパン株式会社は日本に拠点をもち、インドのバンガロールにあるアイウェアシステムズが提供する組込製品やシステムを日本国内に提供しています。我々は各種 CPU や FPGA を用いたハードウェアおよびソフトウェアの総合的な開発ソリューションを提供しています。

これまで、17 年間にわたって世界中の産業・医療・オートモーティブ等の分野へのソリューション提供の実績があり、170 名のスタッフが組み込みシステム開発を行う ISO 9001:2008 認証を取得した企業です。

アイウェアシステムズは常に高集積、高性能、低電力、低コスト、標準/専用の SOM および開発プラットフォーム開発のイノベーターであり続けてまいりました。独自に開発した Linux・Android および Windows Embedded Compact 7 プラットフォーム用のカスタマイズ BSP (Board Support Packages)を提供します。多様な OS のプラットフォームをサポートすることが可能です。